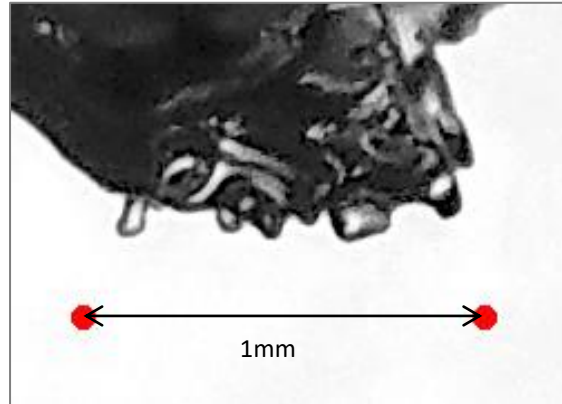
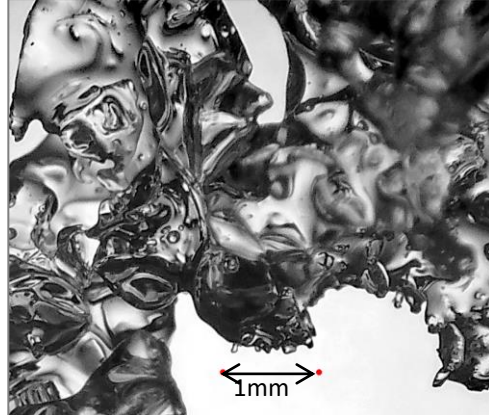
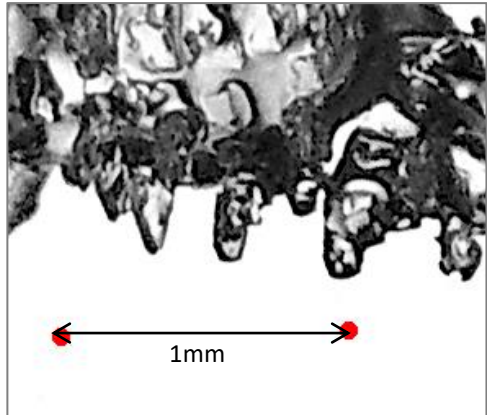
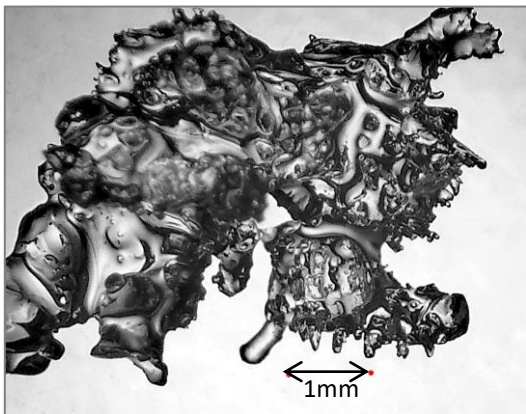
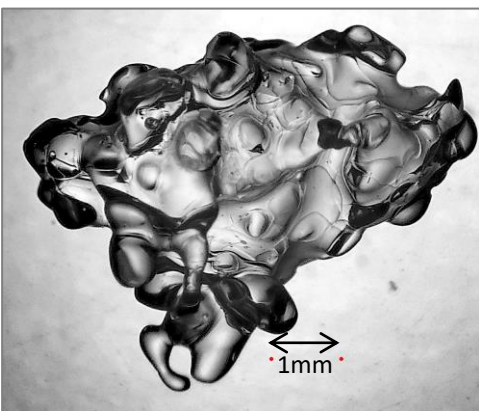


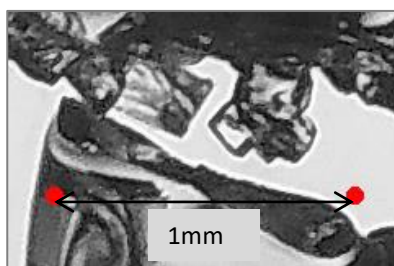
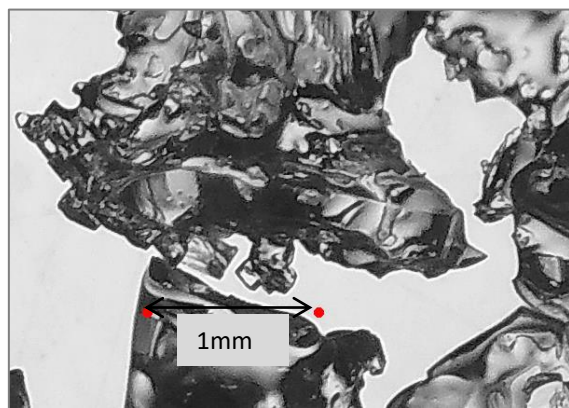
③



②



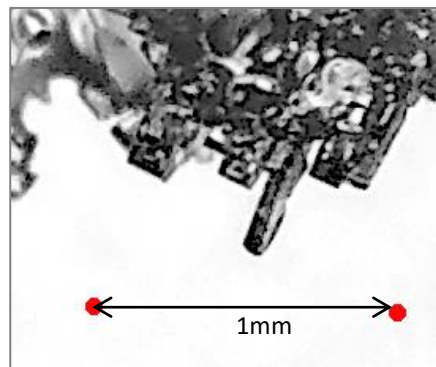
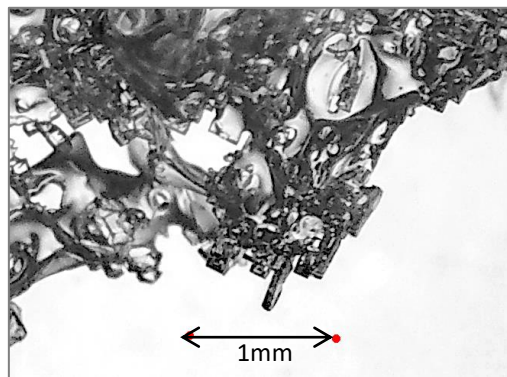
④



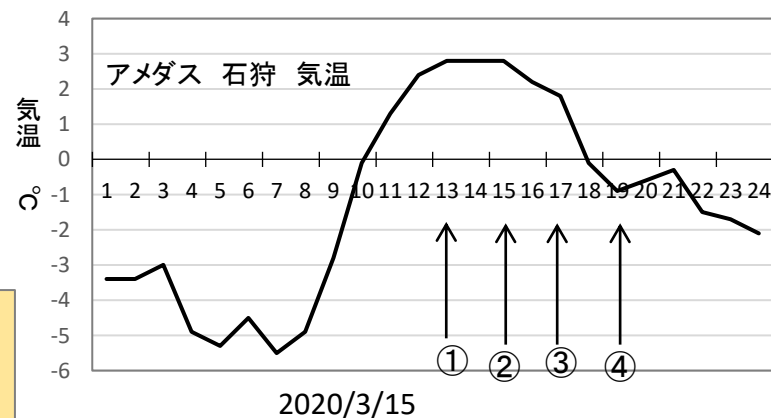
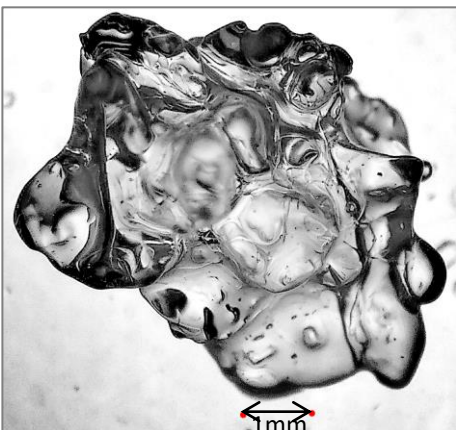
- ①:13:00 気温+5.8℃、全層ぬれ
 ②:15:37 気温+2.8℃、表面わずかにクラスト、霜観察されず。
 ③:17:17 気温+2.3℃、表面-1.1℃、クラスト発達
 ④:19:10、気温+0.8℃、表面-2.0℃ 約1cmが氷点下に、クラスト発達。

③、④:左のスケール付近の拡大が右写真、霜の詳細

④



①



表面の凍結クラスト発達過程

3月15日13時～19時

春先の晴天時、日射と高温で積雪表面が融けている時、太陽が傾き始めると、表面が凍結し始めて固くなる、凍結によるクラストが形成されたのである。この時、気温はまだプラスであるが、放射冷却で表面温度は氷点下になっている。クラスト形成は表面の積雪粒子間の水が凍結するのと、小さな霜の結晶が発達して雪粒同士を結合させる。この霜の結晶の発達過程を観察した。このクラストが厚く発達したのが「堅雪・しみ雪」